Wireless LAN Adapter

IEEE802.11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-WN11/U2シリーズ

User's Manual for Mac

Mac版ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアダプタ「LAN-WN11/U2シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
11n（Draft）	IEEE802.11n規格のDraft版を「11n（Draft）」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線親機	無線ルータと無線LANアクセスポイントをあわせて「無線親機」と表記しています。
無線子機	PCカードタイプの無線LANカード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線アダプタ」を、「無線子機」と表記しています。
無線クライアント	無線子機や携帯ゲーム端末、情報端末など、無線親機に接続する無線機器を総称して「無線クライアント」と表記しています。
有線クライアント	LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

IEEE802.11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-WN11/U2シリーズ

User's Manual for Mac

Mac版ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANアダプタ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、無線LANアダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

このマニュアルについて

このマニュアルは、LAN-WN11/U2、LAN-WN11/U2PSP共通のマニュアルとなっています。

●LAN-WN11/U2をご使用の方

本製品を無線親機と接続する一般的な設定方法については、付属の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

・本製品をKLink Kaiを使ってPSと接続するために使用したい場合は、P56 付録編「1.本製品のさまざまな使い方」をお読みください。

●LAN-WN11/U2PSPをご使用の方

このマニュアルは、おもに「LAN-WN11/U2PSP」のセキュリティ機能を使用する場合にお読みください。PSPと接続する方法については、付属の紙版マニュアル「セットアップガイド」「PSP & XLlink Kai 設定ガイド」をお読みください。

・本製品を、一般的な無線子機と接続するために使用したい場合は、P56 付録編「1. 本製品のさまざまな使い方」をお読みください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲
次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して
別冊の「かんたんセットアップガイド」の「サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

ロジテック ホームページ　http://www.logitec.co.jp/

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。
登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060　　FAX：0570-033-034
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00　※FAXによる受付は24時間対応しております。
（ただし，夏期，年末年始の特定休業日，祝日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

●テクニカルサポートにお電話、FAXされる前に
お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。
◆お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
◆対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は，パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
◆FAXを送られる場合は，詳しい内容を書いた書面を添えて送付いただくと解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容
◆ネットワーク構成
・使用しているネットワークアダプタ　　・使用しているOS
・使用しているパソコンのメーカおよび型番
・ネットワークを構成するパソコンの台数とOSの構成
・ネットワークを構成するその他の関連機器（ハブ、ルータなど）
◆具体的な現象，事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

3 本製品の概要について

本製品の特長

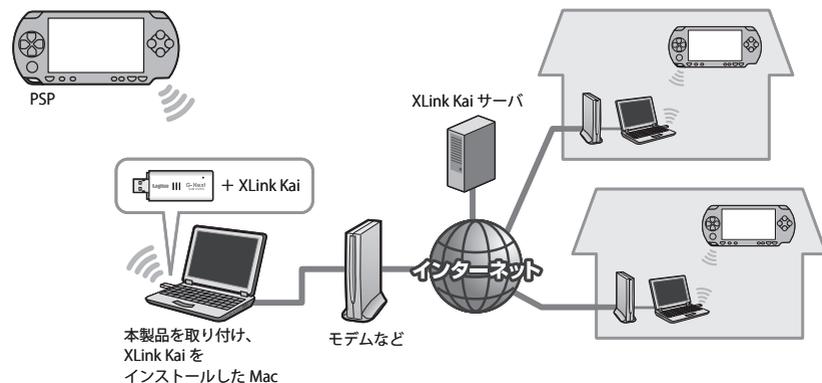
●セットアップが簡単で、すぐに無線LANが使える

「かんたんセットアップガイド」の説明に従って作業を進めるだけで、簡単にセットアップが完了し、無線親機（無線ルータや無線AP）と接続できるようになります。

●使用目的にあわせて選べるMac対応版2製品をご用意

Mac対応版として、パソコンから無線親機と接続するための汎用USB無線LANアダプタ「LAN-WN11/U2」とXLink Kai を使ってPSPからインターネット経由で対戦ゲームなどが楽しめる「LAN-WN11/U2PSP」の2製品をご用意しました。また、この2製品は設定を変更することで、どちらの目的でも使用できます。

◆Macから無線親機に接続する

◆PSPとXLink Kaiを使ってインターネットから対戦ゲームなどを楽しむ

世界中の人たちと、対戦ゲームなどを楽しめます！

●ロジテック独自の高速通信「G-Next」に対応

ロジテック独自の高速通信を実現する「G-Next」を搭載し、11n（Draft2.0）または「G-Next」に対応した無線ルータなどの無線親機との組み合わせで、150Mbps（理論値）という高速データ転送が可能です。

●WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

「ボタン方式」または「PIN方式」の2種類の方法で、面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能を利用できます。

●伝送方式にOFDM方式を採用

G-Next/11gは、伝送方式にOFDM（Orthogonal Frequency Division Multiplexing=直交周波数分割多重）方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。

※IEEE802.11b（11Mbps）はDS-SS方式（直接拡散スペクトラム方式）を採用しています。

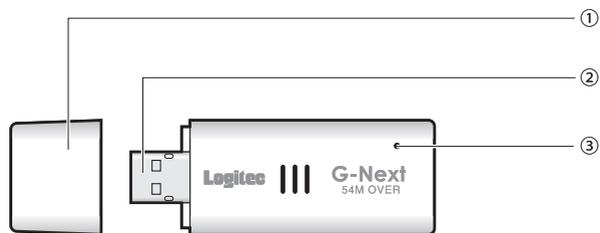
●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA-PSK/WPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からあるWEP（128/64bit）にも対応しています。

●プロファイル機能を搭載

接続先ごとに無線LAN設定を変更しないで済むように、設定を保存できるプロファイル機能を搭載しています。会社や自宅と外出先での設定の切り替えはもちろん、認証方式の保存にも役立ちます。

4 各部の名称とはたらき

LAN-WN11/U2シリーズの各製品は、外観デザインが異なるだけで各部の名称とはたらきは共通です。ここでは、LAN-WN11/U2を使って各部の機能を説明しています。

番号	名称	はたらき
①	保護キャップ	未使用時にUSBコネクタを保護するキャップです。
②	USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
③	Link/Activityランプ（緑色）	点灯：本製品の電波出力がオフの状態です。
		点滅：無線親機とリンクしています。 消灯：無線親機とリンクできていません。

Chapter 2

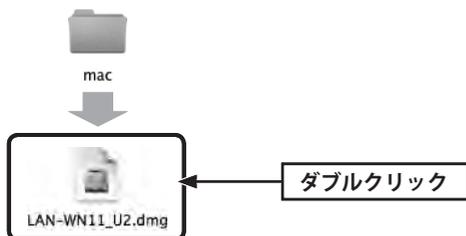
導 入 編

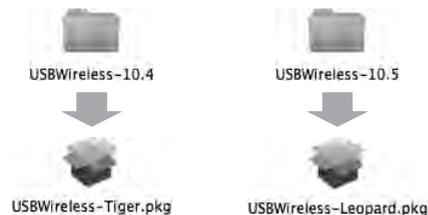
1 ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROMから必要なソフトウェアとドライバをインストールします。

ソフトウェアのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

1 **本製品を使用するMacを起動し、付属のCD-ROMをMacのドライブにセットします。**

2 **マウントされたCD-ROMの内容を表示し、［Mac］フォルダにある「LAN-WN11_U2.dmg」をダブルクリックします。**

3 **デスクトップ画面に「RTUSB_Logitec_Installer」がマウントされます。**

●OSにあわせて該当するフォルダとファイルを選択します

・Mac OS 10.4の場合→「USBWireless-10.4」をダブルクリックします。表示されたフォルダの「USBWireless- Tiger.pkg］をダブルクリックます。

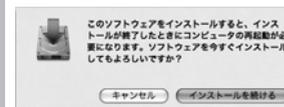
・Mac OS 10.5の場合→「USBWireless-10.5」をダブルクリックします。表示されたフォルダの「USBWireless-Leopard.pkg］をダブルクリックます。

4 **続ける をクリックします。**

5 **インストール をクリックします。**

・インストールが始まります。

「名前」と「パスワード」の入力画面が表示された場合

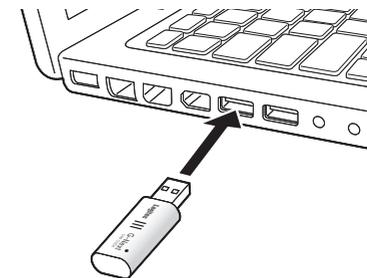
現在ログイン中のアカウントの名前とパスワードを入力します。

左の画面が表示されたときは、インストールを続ける をクリックします。

6 再起動 をクリックします。

7 **これでソフトウェアのインストールは完了です。再起動後にドライブからCD-ROMを取り出し、次ページ「2. 本製品を取り付ける」へ進みます。**

2 本製品を取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。なお、初めて本製品をパソコンに接続するときは、あらかじめソフトウェアのインストール(→P16「1. ソフトウェアのインストール」)が必要です。

1 **Macを起動し、Mac本体のUSBポートに本製品を接続します。**

接続直後に以下の画面が表示されたとき

❶ ネットワーク環境設定 をクリックします。
❷〈ネットワーク〉画面で、そのまま 適用 をクリックします。
❸〈ネットワーク〉画面を閉じます。

2 **自動的に「USB無線LANユーティリティ」が起動します。**

・USB無線LANユーティリティが起動しない場合は、アプリケーションフォルダ内にある「USBWirelessUtility」をダブルクリックします。

3 **これで本製品の接続は完了です。P20「3. 無線LANで接続する」へ進みます。**

3 無線LANで接続する

用意した無線親機を経由して、本製品からインターネットに接続できるようにします。これらの機器に「WPS」機能が搭載されているか、いないかで接続方法が異なります。

無線LANへの接続方法を決める

用意した無線親機に「WPS」機能が搭載されていますか？

はい、搭載しています。 ／ **いいえ、搭載していません。**

P28「手動設定で接続する」へ進みます。

WPSは設定ボタンを使用するタイプですか、PINコードを入力するタイプですか？

設定ボタンを使用するタイプです。 ／ **PINコードを入力するタイプです。**

次ページ「WPSの設定ボタンを使って接続する」へ進みます。

P24「WPSのPINコードを使って接続する」へ進みます。

WPS機能について

Wi-Fiアライアンスの新しい規格です。WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線親機と無線子機のそれぞれに装備されたWPS用の「設定ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できますので、わずらわしかった無線LAN設定から一気に解放されます。

WPSの設定ボタンを使って接続する

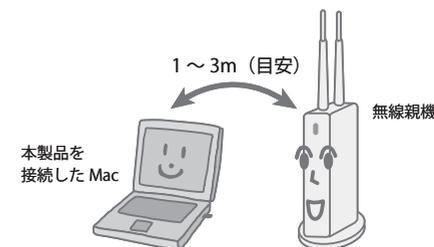
WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を使って、無線親機に接続します。

1 設定をはじめる前に、無線親機のWPS用の「設定ボタン」の場所を確認しておきます。

・それぞれの機器の説明書をお読みください。

WPS用の「設定ボタン」について

ご使用になる機器によっては、WPSボタンがハードウェアボタンとしては装備されておらず、設定ユーティリティ上のソフトウェアボタンをクリックする製品があります。それぞれの機器の説明書でご確認ください。

2 本製品を接続したMacを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

3 「USB無線LANユーティリティ」を起動していない場合は、起動し画面を表示します。

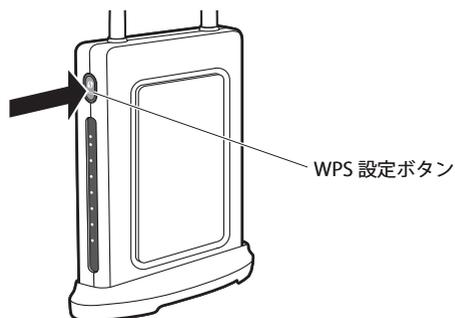
・「USB無線LANユーティリティ」は、インストール時にインストール先を変更していなければ、「アプリケーション」フォルダ内にあります。

4 【サイトサーベイ】タブで接続先の無線親機のSSIDが表示されていることを確認し、【WPS】タブをクリックします。

※画面は例です。実際にご使用の環境の内容とは異なります。

・SSIDが表示されていない場合は、〈USB無線LANユーティリティ〉画面の下にある 検索 をクリックします。

5 **無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。**

◆弊社製無線ルータ「LAN-WN12/R」の例

・弊社製のWPS対応無線ルータをご使用の場合は、「WPS設定ボタン」を1秒以上、しっかりと押して離します。
・他社製品のWPS用の「設定ボタン」を押す時間につきましては、それぞれの機器の説明書をお読みください。

注 意

無線親機側がWPS用の信号を送信する時間は限られています。指定された時間以内に本製品の「設定ボタン」を押さないと接続できません。設定時間を過ぎた場合は、手順 5 6 をくり返してください。

6 **PBC をクリックします。**

7 **正しく接続できると、「PBC - Get WPS profile successfully.」というメッセージが表示されます。**

・「WPSプロファイルリスト」にプロファイルが登録され、先頭に アイコンが表示されます。

接続がうまくいかないとき

●100%にならない場合は、手順 5 ～ 7 をくり返してください。
●100%になっても無線通信できない場合、「WPSプロファイルリスト」にある接続先のSSID（弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”）を選択し、画面右側の Connect をクリックしてください。

8 **これで無線親機との接続作業は完了です。P40「4.インターネットに接続する」へ進みます。**

・キーボードの[command]＋[H]を押して、画面を隠します。

プロファイル機能について

本製品を接続したMacで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の プロファイルを追加 をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P43「プロファイルの登録方法」をお読みください。

WPSのPINコードを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「PINコード」を使って、無線親機に接続します。
無線親機側に設定されたPINコードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定されたPINコードを無線親機に入力する方法があります。ここでは無線親機側に設定されたPINコードを本製品に入力する場合の操作の流れを説明します。

本製品のPINコードを無線親機に入力する場合
P51「6. WPSタブ」をお読みになり、本製品の設定モードを「Enrollee」に設定したうえで、生成された本製品側のPINコードを無線親機側に入力してください。このとき無線親機側の設定モードは「Registrar」に設定してください。

1 **設定をはじめる前に、無線親機側の設定ユーティリティを表示するなどして、無線親機側のPINコードをメモします。**

●無線親機側のPINコードをメモしてください。

無線親機のPINコード

・無線親機側のPINコードは「Enrollee」モードでのコードになります。
・無線親機側のPINコードの確認方法は、それぞれの説明書をお読みください。

2 **本製品を接続したMacを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

3 **「USB無線LANユーティリティ」を起動していない場合は、起動して画面を表示します。**

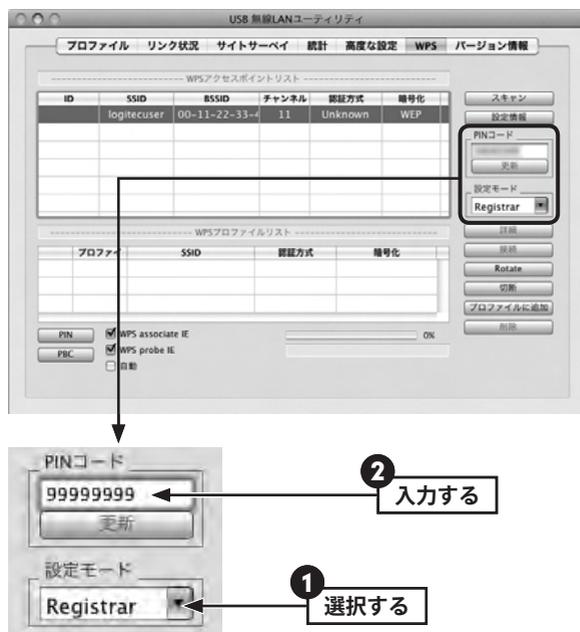
・「USB無線LANユーティリティ」は、インストール時にインストール先を変更していなければ、「アプリケーション」フォルダ内にあります。

4 **【サイトサーベイ】タブで接続先の無線親機のSSIDが表示されていることを確認し、【WPS】タブをクリックします。**

※画面は例です。実際にご使用の環境の内容とは異なります。

・SSIDが表示されていない場合は、〈USB無線LANユーティリティ〉画面の下にある 検索 をクリックします。

5 **「WPSアクセスポイントリスト」から、接続先のSSIDを選択します。**

6 **設定モードで「Registrar」を選択し、手順 1 でメモしたPINコードを入力します。**

7 **無線親機側のWPS機能（PINコード）を実行します。**

・実行方法については、無線親機の説明書をお読みください。

8 **PIN をクリックします。**

9 **正しく接続できると、「PIN - Get WPS profile successfully.」というメッセージが表示されます。**

・「WPSプロファイルリスト」にプロファイルが登録され、先頭に アイコンが表示されます。

接続がうまくいかないとき

●100%にならない場合は、手順 5 ～ 9 をくり返してください。

●100%になっても無線通信できない場合、「WPSプロファイルリスト」にある接続先のSSID（弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”）を選択し、画面右側の Connect をクリックしてください。

10 **これで無線親機との接続作業は完了です。P40「4.インターネットに接続する」へ進みます。**

・キーボードの[command]＋[H]を押して、画面を隠します。

プロファイル機能について

本製品を接続したMacで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の プロファイルを追加 をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P43「プロファイルの登録方法」をお読みください。

手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）

WPS機能がない無線LAN環境では、無線親機に設定された無線LANの設定内容を本製品に設定します。ここでは、セキュリティ機能として、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKのいずれかを設定する手順も含めて説明しています。

1 接続作業をはじめる前に、無線親機に設定されている無線LAN 設定の項目を確認してメモします。

●設定値メモ

設定名	項目名	無線親機側の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証タイプ	□オープン　□シェアード　□WPA-PSK　□WPA2-PSK
設定値C	暗号化	□なし（データを暗号化しない） □WEP　□TKIP　□AES
設定値D	WPA-PSK WPA2-PSKの場合	プレシェアードキー＝
	WEPの場合	・キー番号（Key #）＝ ・入力する文字形式　□ASCII　□16進数 ・暗号キー＝

※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定名の項目は変化します。

注 意

ここに設定値を記載した場合は、第三者に見られないようにご注意ください。

2 本製品を接続したMacを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

3 「USB無線LANユーティリティ」を起動していない場合は、起動して画面を表示します。

・「USB無線LANユーティリティ」は、インストール時にインストール先を変更していなければ、「アプリケーション」フォルダ内にあります。

4 【サイトサーベイ】タブの「AP一覧」に接続可能な無線親機の「SSID名」が表示されますので、接続したいSSIDを選択し、 プロファイルを追加 をクリックします。

SSIDの秘匿機能をご使用の場合

「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は以下の手順で接続する無線LANのSSIDなどを手動で入力してください。

❶【プロファイル】タブをクリックします。
❷ 追加 をクリックします。
❸「プロファイル名（例：My Home）」と「SSID（あらかじめメモした設定値Aの内容）」を入力します。※ SSIDは大文字と小文字が区別されます。
❹ 手順 5 へ進みます。

5 **必要に応じてプロファイル名を変更したり、オプションを設定します。**

・「プロファイル名」の初期値は「PROF（+設定順の番号）」です。HOME、OFFICEなど分かりやすい名前に変更できます。
・その他のオプションの説明はP43「プロファイルの登録方法」をお読みください。

6 **【認証とセキュリティ】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 10 へ進みます。**

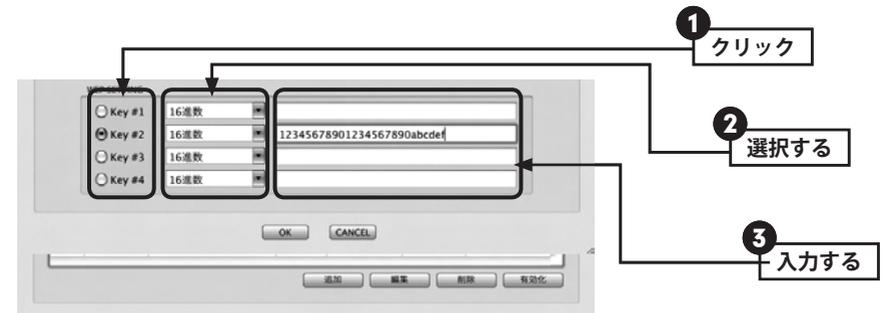
7 **あらかじめメモした「設定値B」を参考に「認証タイプ」を選択します。**

8 **あらかじめメモした「設定値C」を参考に「暗号化」の方式を選択します。**

※画面は「認証方式」でWPA-PSKを選択した場合の例

9 **暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。**

●WPA-PSK/WPA2-PSKを選択した場合
「WPAプレシェアードキー」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。

●WEPを選択した場合
あらかじめメモした「設定値D」の内容を設定します。

❶ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❷ 文字形式を選択します。ASCII文字を使用する場合は、［▼］ボタンをクリックして変更します。
❸ 暗号キーを入力します。

「WEP」では、WEP キーの文字だけでなく、使用するキー番号、文字形式も無線親機と全く同じに設定する必要があります。

10 **設定が終われば OK をクリックします。**

11 **プロファイル画面が表示されます。「プロファイル一覧」で設定したプロファイルを選択し、有効化 をクリックします。**

12 **正常に接続できると、プロファイル名の前に （緑）アイコンが表示されます。**

【サイトサーベイ】タブでも確認できます

無線親機と正常に接続できている場合は、【サイトサーベイ】タブの「AP一覧」のSSIDの前に、 アイコンが表示されます。

13 **これで無線親機との接続作業は完了です。P40「4.インターネットに接続する」へ進みます。**

・キーボードの[command]＋[H]を押して、画面を隠します。

プロファイル機能について

本製品を接続したMacで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の プロファイルを追加 をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P43「プロファイルの登録方法」をお読みください。

Ad hocモードで接続する

無線親機を使わずに、無線子機同士で直接通信するAd hocモードでの接続方法について説明します。Ad hoc モードの設定を始める前に、無線子機のドライバおよびクライアントユーティリティのインストールを完了しておいてください。なお、Ad hocモードでは、WPS機能は利用できません。

●Ad hocモードを設定するには

Ad hocモードで使用する場合は、必ずいずれかの無線子機について手動でSSIDやセキュリティ設定をおこなってください。
設定した1台の無線子機を起動し、他の無線子機は、「USB無線LANユーティリティ」の「AP一覧」からSSIDを選択することで、セキュリティ設定を手動で入力するだけで設定を済ませることができます。

1 接続作業をはじめる前に、Ad hocモードで使用する無線LAN設定の項目を決めます。

●設定値メモ

設定名	項目名	設定値
設定値A	SSID	
設定値B	チャンネル	ch
設定値C	認証タイプ	□オープン □シェアード □WPA-PSK □WPA2-PSK
設定値D	暗号化	□なし（データを暗号化しない） □WEP □TKIP □AES
設定値E	WPA-PSK WPA2-PSKの場合	プレシェアードキー＝
	WEPの場合	・キー番号（Key #）＝ ・入力する文字形式 □ASCII □16進数 ・暗号キー＝

※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定名の項目は変化します。
※Ad hocモードにおけるセキュリティ設定は、WEPまたはWPA2-PSK（AES）のいずれかになります。

注 意

ここに設定値を記載した場合は、第三者に見られないようにご注意ください。

2 「USB無線LANユーティリティ」を起動していない場合は、起動して画面を表示します。

・「USB無線LANユーティリティ」は、インストール時にインストール先を変更していなければ、「アプリケーション」フォルダ内にあります。

3 【プロファイル】タブを選択し、 追加 をクリックします。

・設定画面が表示されます。

4 「SSID」に設定値Aを手動で入力し、「ネットワークタイプ」で[802.11アドホック]を選択します。

必ず、[802.11アドホック]を選択します。

・必要に応じて、他の項目も設定します。

5 【認証とセキュリティ】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 **7** へ進みます。

6 P28「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」の手順 **7** ～ **9** を参考に、あらかじめ決めた設定値（P34の手順 **1** の内容）を入力します。

7 設定が終われば OK をクリックします。

8 プロファイル画面が表示されます。「プロファイル一覧」に設定したプロファイルが表示されます。

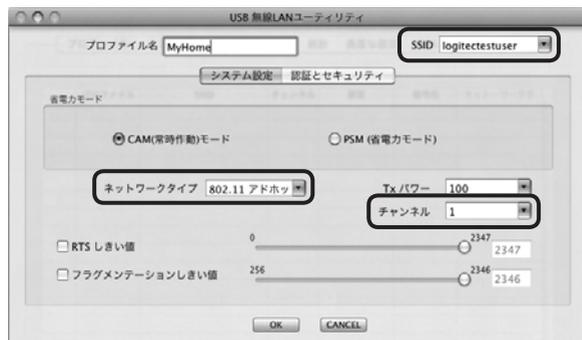
・これで1台目の無線子機の設定は完了です。

9 他のMacに接続した無線子機の「USB無線LANユーティリティ」を起動します。

弊社製の無線子機でも、本製品と異なるクライアントユーティリティを使用している場合や、他社製品の無線子機の場合は、それぞれの説明書をお読みになり、P34手順 **1** の内容を設定してください。

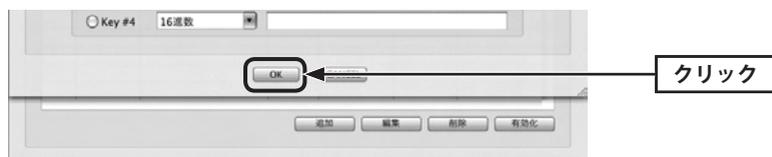
10 【サイトサーベイ】タブの「AP一覧」の中から、手順 **4** で設定した「SSID（設定値A）」を選択し、 プロファイルを追加 をクリックします。

・設定画面が表示されます。

11 **おもな設定は自動的に接続相手の設定が反映されます。必要に応じて、プロファイル名や他の項目を設定します。**

・ネットワークタイプは、[802.11アドホック]を必ず選択します。
・SSIDとチャンネルは、接続相手と同じ設定にします。

12 **【認証とセキュリティ】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 14 へ進みます。**

・セキュリティを設定する場合は、手順 6 で設定したときと同じように、あらかじめ決めた設定値を入力します。

13 **セキュリティ設定が終われば OK をクリックします。**

14 **プロファイル画面が表示されます。プロファイルリストで設定したプロファイルを選択し、 有効化 をクリックします。**

15 **正常に接続できると、プロファイル名の前に ✓（緑）アイコンが表示されます。**

・これでもう1台の無線子機の設定は完了です。

16 **これでAd hocモードでの接続作業は完了です。**

・キーボードの[command]＋[H]を押して、画面を隠します。
・他にも無線子機がある場合は、同様の設定をしてください。

4 インターネットに接続する

無線LANがつながれば、無線LANを経由してインターネットに接続できるかテストします。

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテックWebサイト　http://www.logitec.co.jp/

Chapter 3

詳細設定 編

1 プロファイル タブ

本製品は、プロファイル名を付けることで、複数の無線LAN環境（SSIDやセキュリティ設定など）を保存することができます。接続先にあわせて、保存したプロファイルを切り替えることで、異なる無線LAN環境に簡単に接続できます。

●画面の項目とボタンの説明

プロファイル	設定時に任意に付けることができるプロファイルの名称です。初期値は「PROF（+設定順の番号）」です。
SSID	接続相手に設定されているSSIDです。
チャンネル	接続相手が使用しているチャンネル番号です。
認証	接続相手に設定されている認証方式です。
暗号化	接続相手に設定されている暗号化方式の種別です。
ネットワークタイプ	Infrastructure：インフラストラクチャーモードで動作しています。 Ad Hoc：アドホックモードで動作しています。
追加ボタン	新しくプロファイルを作成します。
編集ボタン	「プロファイル一覧」で選択したプロファイルの修正など、編集ができます。
削除ボタン	「プロファイル一覧」で選択したプロファイルを削除します。
有効化ボタン	選択したプロファイルで接続します。

プロファイルの登録方法

プロファイルを登録する方法は、以下の3通りあります。

手動設定による登録	手動ですべての項目を入力します。
【サイトサーベイ】タブのAP一覧より追加	「AP一覧」に表示されているSSIDを選択することで、取得可能な情報を自動的に登録します。ただし、セキュリティ設定など自動では取得できない情報は、手動で入力する必要があります。 「AP一覧」から、プロファイルを登録したい接続先を選択し、［プロファイルを追加］ボタンをクリックします。「手動設定による登録」の手順を参考に不足の情報を設定してください。
WPSプロファイルリストより追加	WPS機能で取得した情報をプロファイルとして保存します。【WPS】タブで「WPSプロファイルリスト」から、プロファイルを登録したい接続先を選択し、［プロファイルに追加］ボタンをクリックします。すべての情報が自動的に登録されます。必要に応じてプロファイル名をお好みの名称に変更してください。

手動設定による登録

ここでは、手動設定による登録方法について説明します。「AP一覧」より追加、WPSプロファイルリストより追加および登録済みのプロファイルを編集する場合も、この説明を参考に設定してください。

1 【プロファイル】タブを選択し、 追加 をクリックします。

・設定画面が表示されます。

2「SSID」を手動で入力し、「ネットワークタイプ」を選択します。

・必要に応じて、他の項目も設定します。

3【認証とセキュリティ】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 **7** へ進みます。

4「認証タイプ」を選択します。

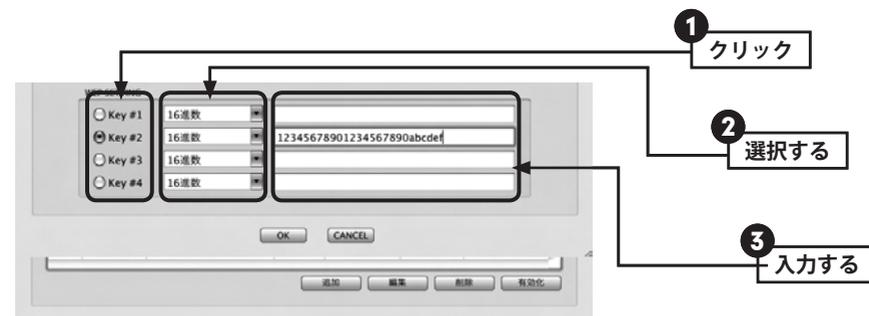
5「暗号化」の方式を選択します。

※画面は「認証方式」でWPA-PSKを選択した場合の例

6 暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。

●WPA-PSK/WPA2-PSKを選択した場合

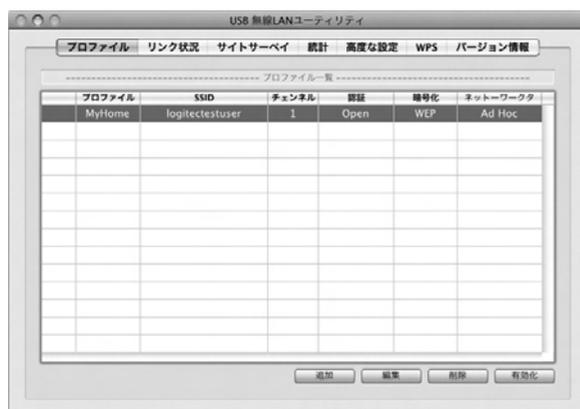
「WPA プレシェアードキー」に、暗号キーを入力します。

●WEPを選択した場合

❶ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❷ 文字形式を選択します。ASCII文字を使用する場合は、[▼]ボタンをクリックして変更します。
❸ WEPキーを入力します。

注 意

「WEP」では、WEP キーの文字だけでなく、使用するキー番号、文字形式も無線親機と全く同じに設定する必要があります。

7 設定が終われば OK をクリックします。

8 プロファイル画面が表示されます。「プロファイル一覧」に設定したプロファイルが表示されます。

9 これでプロファイルへの登録は完了です。

登録したプロファイルで接続するには
「プロファイル一覧」で、接続したいプロファイルを選択し、 有効化 をクリックします。

2 リンク状況 タブ

現在のリンク状況を確認することができます。

●おもな項目の説明

項目	説明
状況	接続中の「SSID」と接続相手のMACアドレスを表示します。
チャンネル	現在使用中のチャンネルとその周波数を表示します。
リンク速度	TX（送信）とRX（受信）のリンク速度を表示します。
スループット	Tx（送信）とRx（受信）のスループットを表示します。
リンク品質	無線通信の品質を表示します。
シグナル1の強さ	アンテナごとの信号の強さを%で表示します。本製品はアンテナが1本なので「シグナル1」だけになります。
ノイズレベル	現在のノイズの強さを%で表示します。

3 サイトサーベイ タブ

USB無線LANユーティリティを起動すると、【サイトサーベイ】タブが表示されます。【サイトサーベイ】タブの「AP一覧」は、本製品が電波を受信可能な範囲にある無線親機をSSID別にリストで表示する画面です。ここでは、【サイトサーベイ】タブの基本的な内容について説明します。

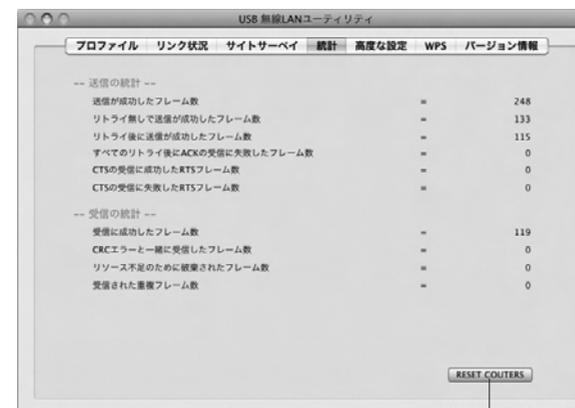
ステータスの表示

無線親機側で「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」などSSIDを秘匿する機能を有効にしているSSIDについては、画面に表示されません。

●項目およびボタンの説明

SSID	無線親機など接続相手に設定されているSSIDです。
BSSID	無線親機など接続相手のMACアドレスです。
Signal	受信感度を%で表示します。
チャンネル	無線親機など接続相手が使用しているチャンネル番号です。
認証	無線親機など接続相手に設定されている認証方式です。
暗号化	無線親機など接続相手に設定されている暗号化方式の種別です。
ネットワークタイプ	Infrastructure：インフラストラクチャーモードで動作しています。 Ad Hoc：アドホックモードで動作しています。
検索ボタン	周囲の電波の状態を再スキャンします。リストが更新されます。
接続ボタン	「AP一覧」で選択したSSIDを持つ無線親機に接続します。
プロファイルを追加ボタン	リストで選択したSSIDの設定をプロファイルに保存します。プロファイルについてはP42「1. プロファイル タブ」を参照してください。

4 統計 タブ

送信および受信した各種フレーム数を確認することができます。統計情報を確認することで、データの伝送状態を把握することができます。

このボタンをクリックすると、統計情報をリセットします。

5 高度な設定 タブ

本製品をさらに高度に使いこなすためのオプション機能を設定することができます。設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックします。

●項目およびボタンの説明

ワイヤレスモード	本製品は2.4GHz帯専用です。設定は変更できません。
TXレート	Autoのみです。設定は変更できません。
TXバースト有効	バースト転送でデータを送信したい場合にオンにします。親機も本機能に対応している場合、転送速度がアップする場合があります。（初期値＝オフ）
PSP XLink有効	本製品をXLink Kaiと組み合わせ、PSPでインターネットを経由して対戦ゲームを楽しむ場合に、オンにします。（初期値＝オフ）
電波オン/電波オフボタン	このボタンを押すことで、電波の発信をオン/オフできます。 [電波オフ]ボタンのときにクリックすると、オンからオフに切り替わります。 [電波オン]ボタンのときにクリックすると、オフからオンに切り替わります。 アイコンはオン時はグリーンに、オフ時はレッドになります。

6 WPS タブ

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。この機能を使うと「WPS設定ボタンを押す」または「PINコードを入力する」のいずれかの作業で、簡単にセキュリティ機能付きの無線LAN設定ができます。この機能を利用するには、接続する無線親機もWPS機能に対応している必要があります。

なお、ここでは画面の各項目について説明しています。WPS機能による無線親機との接続手順についてはP21「WPSの設定ボタンを使って接続する」または「WPSのPINコードを使って接続する」をお読みください。

●項目およびボタンの説明

WPSアクセスポイントリスト	WPS機能に対応した無線親機（アクセスポイント）のリストを表示します。左からID、SSID、BSSID（MACアドレス）、使用チャンネル、認証方式、暗号化方式の設定値です。
WPSプロファイルリスト	WPS機能に対応している無線親機のプロファイルリストです。
PINボタン	PINコードを使用して無線親機と接続するときに、このボタンをクリックします。
PBCボタン	WPS機能の設定ボタンを使用して無線親機と接続するときに、このボタンをクリックすることでWPS設定を実行できます。
WPS associate IE WPS probe IE	非暗号化通信/暗号化通信が混在している環境においても通信可能とする機能です。通常は変更する必要はありません。 （初期値：ともにオンで有効）
自動	WPS機能に対応している無線親機が複数あり、PINコードを使用して無線親機に接続するときに使用します。通常は変更する必要はありません。

スキャン	周囲の電波の状態を再スキャンします。リストが更新されます。
設定情報	WPSアクセスポイントリストでSSIDを選択した状態でクリックすると、そのSSIDの設定情報画面を表示します。
PINコード	現在の「設定モード（RegistrarまたはEnrollee）」におけるPINコードを表示します。 設定モードが[Enrollee]のときは、[更新]ボタンをクリックすることでPINコードを更新することができます。
設定モード	PINコードの設定モードを選択します。 Registrar：無線親機に設定されたPINコードを本製品に入力して、無線LANを確立する場合に選択します。 Enrollee：本製品に設定したPINコードを無線親機に入力して、無線LANのリンクを確立する場合に選択します。
詳細ボタン	WPSプロファイルリストで選択したプロファイルの詳細な設定内容を表示します。
接続ボタン	WPSプロファイルリストにあるプロファイルを選択し、このボタンをクリックすると、選択したプロファイルで接続します。複数のWPSプロファイルがある場合に、接続先を選ぶことができます。
Rotateボタン	WPSプロファイルリストにプロファイルが複数ある場合、このボタンをクリックすることで、接続可能な次のプロファイルを自動的に選択して接続します。
切断ボタン	接続中または接続を試みているときに、このボタンをクリックすると、接続を切断または中止します。
プロファイルに追加ボタン	WPS機能に関係なく、すべてのプロファイルを保存する【プロファイル】タブ（→P42）の「プロファイル一覧」のほうにも登録します。
削除ボタン	WPSプロファイルリストで選択したプロファイルを削除します。

◆設定情報画面の例（ 設定情報 ボタンをクリック）

◆詳細画面の例（ 詳細 ボタンをクリック）

7 バージョン情報 タブ

本製品のハードウェア、設定ユーティリティ、ドライバのバージョンなど、本製品の情報を表示します。本製品のアップデートやサポートで必要になることがあります。

Appendix

付録編

1 本製品のさまざまな使いかた

本製品（LAN-WN11/U2シリーズ）は、ご使用の目的にあわせて、4タイプのモデルがあり、そのうち2タイプはMac OSでも使用できます。この2タイプは、設定を変更していただくことで、もう一方のタイプとしても使用できます。各タイプでの設定方法の流れを説明していますので、別のタイプで使用したい場合は、この説明を参考に、かんたんセットアップガイド、ユーザーズマニュアル等をお読みになって、設定を変更してください。なお、各説明はすでに使用中の状態からの変更方法を説明しています。

注意

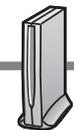
設定を変更すると、現状の環境では、使用できなくなります。

弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2シリーズの各タイプ別の「かんたんセットアップガイド」のPDFをダウンロードすることができます。設定の参考にしてください。

パソコン用の無線子機として使う

LAN-WN11/U2と、同等の機能で使えるように設定します。無線親機のある環境で本製品をMacに取り付け、Macから無線親機に無線LANで接続できるようにします。

本製品を取り付けたMac

無線親機　モデムなど

LAN-WN11/U2PSPの設定変更方法

1　LAN-WN11/U2用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2」の「🅱 かんたんセットアップガイドーMac編ー」をダウンロードします。

2　PSP用のオプションをオフにする

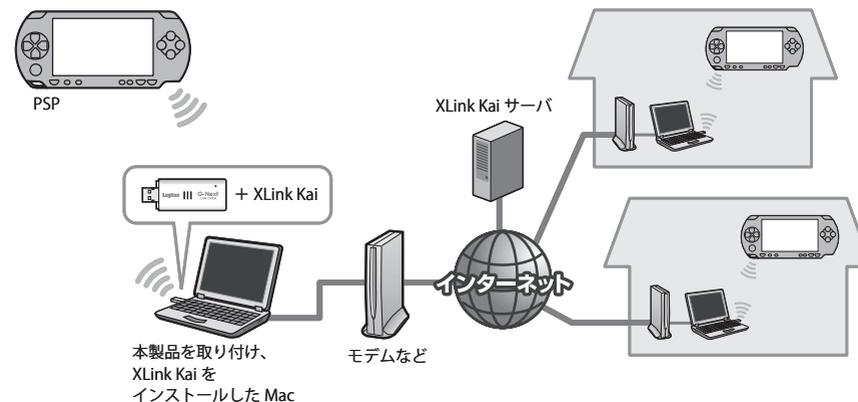
「LAN-WN11/U2PSP」の「🅰 セットアップガイド」の「Mac編：STEP2 本製品をパソコンに取り付けましょう」の手順❷・❸を参考に、本製品の「PSP XLink有効」をオフに変更します。

3　無線親機と接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2」の「🅱 かんたんセットアップガイド ーMac編ー」の「STEP2 本製品をパソコンに取り付けましょう」からお読みになり、無線親機と接続してください。

PSP＋XLink Kaiで使う

LAN-WN11/U2PSPと、同等の機能で使えるように設定します。有線LANでインターネットと接続されたMacに本製品を取り付けます。MacにXLink Kaiというソフトウェアをインストールすることで、PSPからMacとインターネットを経由して、日本中そして世界中の人と対戦ゲームなどを楽しめるようになります。

対応OS：Mac OS 10.5

LAN-WN11/U2の設定変更方法

1　LAN-WN11/U2PSP用のソフトウェアと説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2PSPの「ユーティリティ&ドライバ」と、「LAN-WN11/U2PSP」の「🅰 セットアップガイド」および「🅱 PSP & XLink Kai設定ガイド」をダウンロードします。

2	現在の無線LAN設定を確認する
	現在、セキュリティ機能を設定している、アドホックモードで使用しているなど、初期値より設定を変更している場合は、設定を初期値に戻しておきます。 ・セキュリティ設定：認証タイプ「オープン」、暗号化「なし」 ・ネットワークタイプ：インフラストラクチャー

3	PSPオプションを設定する
	1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」の「Mac編：STEP2 本製品をパソコンに取り付けましょう」の手順 2・3 を参考に、本製品の「PSP XLink有効」をオンに変更します。

4	PSPとXLink Kaiの設定をする
	1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2PSP」の「B PSP & XLink Kai設定ガイド」をお読みになり、PSPとXLink Kaiの設定をしてください。

2 トラブルシューティング

無線LAN関係のトラブル

●無線LANがつながらない。

①通信モードを正しく設定していますか。Ad hoc（802.11アドホック）モードの場合は、プロファイルの設定で、Ad hocモードを使用するように設定する必要があります。P34「Ad hocモードで接続する」を参照してください。

③ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか。セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●Ad hocモードでつながらない。

無線子機のうち1台は、必ずSSIDを設定してください。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、無線親機を含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①もう一度初めからやりなおしてください。

②PINコードによる設定の場合、PINコードの設定モードや、入力したPINコードが誤っていることがあります。もう一度初めからやりなおしてください。

WPS機能を利用した接続に失敗する場合
WPS機能を利用した接続に繰り返し失敗する場合は、手動で接続してください。手動での接続方法については、P28「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」をお読みください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。DHCPサーバ機能に関する設定は、[システム環境]→[ネットワーク]で設定してください。

②プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

③プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。
ネットワークの共有設定をしましたか。
無線LANが正常に動作していてもネットワークの共有設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。[システム環境]→[共有]で設定してください。

3 補足事項

補足1：本製品のネットワークへの登録

[システム環境]→[ネットワーク]で調べたときに、本製品が「未接続」の状態の場合は、以下の手順で接続状態にしてください。

❶ [システム環境]→[ネットワーク]を選択します。

❷ 本製品は、「USB Ethernet（enx）」（"x"は数字）と表示されています。リストに表示されていない場合は、リストの下にある[+]ボタンをクリックします。

❸「インターフェイス」で[USB Ethernet（enx）]を選択します。サービス名は任意の名前を入力します。［作成］ボタンをクリックします。

❹ 適用 ボタンをクリックすると、ネットワークに接続します。

補足2：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスを知りたいとき

❶ [システム環境]→[ネットワーク]を選択します。

❷ リストの「USB Ethernet（enx）」を選択すると、IPアドレス等が表示されます。

補足3：ドライバとユーティリティの削除方法

「アプリケーション」フォルダ内の「USBWirelessUtility」をゴミ箱に捨てます。

4 基本仕様

■おもな仕様

インターフェイス	USB2.0/1.1
規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412〜2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1〜13ch
伝送方式	11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	G-Next適用時：最大150Mbps 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー/アドホック
アンテナ方式	内部基板アンテナ1本
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP（64/128ビット）、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS（ソフトウェア方式）
環境条件	温度：0〜40℃、湿度：20〜80%（結露なきこと）
消費電力（定格）	230mA
外形寸法/質量	幅19.5×奥行56.0×高さ10.0mm/約10g

●対応機種：以下のOSに対応したWindowsマシンまたはIntel CPUを搭載するMac

LAN-WN11/U2 LAN-WN11/U2DS LAN-WN11/U2PSP LAN-WN11/U2IPH	クライアントモード：	Windows Vista（SP1以降）、XP（SP3以降）、 2000（SP4以降）、 Mac OS 10.4、Mac OS 10.5
	ソフトウェアAPモード：	Windows Vista（SP1以降）、XP（SP3以降）
	XLink Kaiアダプタ：	Windows Vista（SP1以降）、XP（SP3以降）、 Mac OS 10.5